

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組などについての情報をお届けします。

- 1：【高校の特色ある取組】
- 2：【学校紹介スペシャル】
- 3：【コラム】
- 4：【お知らせ】

については各高等学校からの原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報は、以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

「見つけよう、自分の目指す学び！」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2010tobira/tobira.html>

■ もくじ ■

1：【高校の特色ある取組】

- (1) 仙台第三高等学校
＜スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業への取り組み＞
- (2) 涌谷高等学校
＜厚い信頼 涌高魂＞
- (3) 小牛田農林高等学校
＜農業クラブ活動 ～おにぎり選手権～ ＞

2：【学校紹介スペシャル】

- (1) 名取高等学校
＜真善美への感動と実践…自分の力で可能性を広げよう…＞
- (2) 仙台二華高等学校
＜限りない未来への挑戦＞
- (3) 泉高等学校
＜泉高校を知りたいあなたへ＞
- (4) 石巻商業高等学校
＜「目指せ！日本一の志を！！」をモットーに＞

3：【コラム】

- (1) 松島高等学校 生徒会長 千葉 彩貴
＜生徒会長よりひとこと＞
- (2) 石巻高等学校 教諭 小野寺智弘
＜生徒主体の校内行事＞
- (3) 水産高等学校 教諭 増田雄次郎
＜ラグビー（楽・苦・備）＞

- (4) 石巻北高等学校 生徒会長 山本達彦
 <～石巻北高校の取り組み～>
- (5) 石巻西高等学校 生徒会長 千葉大貴
 <生徒会長から>
- (6) 気仙沼高等学校 生徒会長 村上大河
 <自己の成長を求めて>

4：【お知らせ】

- (1) 第1回志願者予備調査結果について
- (2) 公立高校ガイドブックについて

5：【編集後記】

■ 1 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ 仙台第三高等学校

├ <スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業への取り組み>

本校は昭和38年に全日制普通科の高校として開校しました。昭和43年には県内では初めてとなる理数科が設置されました。平成3年には理数科が学級増となり、これまで充実した理数教育を進めてきました。理数教育を更に発展させるために、スーパーサイエンスハイスクール事業指定校に応募したところ今年4月に指定され、今後、5年間事業を進めることになりました。平成22年度においては、全国で新たに36校が指定され、継続校を含めると全国で125校がSSH事業に取り組んでいます。

本校のSSH事業では、学校設定科目を設置し、多彩な理系の課外活動を実践しています。生徒が主に自然科学系の学習へ主体的・能動的に取り組む、科学的な探求活動の質を高め、領域横断的な視点を身に付け、科学研究に向かう動機付けを強めたいと考えています。

具体的には、次のようなテーマと視点を設け、20の研究開発事業に取り組んでいます。

A：科学する力・・・科学的な探求活動の育成

- ① SSH課題研究基礎 ② SSH課題研究 ③ SSH宮城から見る地球

B：科学コミュニケーション力・・・国際性の育成，言語活動の充実

- ④ SSH英語 ⑤ SSH理数言語活動

C：テクノロジーの理解・・・問題解決能力，論理的思考力の育成

- ⑥ SSH情報

D：倫理観とキャリアの理解・・・倫理観の醸成，科学者・技術者のキャリア理解

- ⑦ SSH科学と社会

E：SSHクラブを軸にした多彩な理系科学活動の創出・・・個性の伸長，成果普及

ア 関心・意欲の高い生徒の能力をさらに伸ばす活動

- ⑧講演会 ⑨ SSH研修会 ⑩ SSHフィールドワーク

- ⑪ SSH身近なテクノロジー ⑫ SSH特別課題研究

イ 交流によって刺激し合う活動

- ⑬ SSH国際交流 ⑭ SSH指定校間交流 ⑮ 研究発表会

ウ 積極的に情報発信する活動

- ⑯ SSH通信

エ 積極的に情報発信する活動

⑰ S S H 科学フォーラム ⑱ S S H わくわくサイエンス

オ 倫理観を養い、理系キャリアの理解を深める活動

⑲ S S H 講演会（キャリア教育） ⑳ S S H 科学茶会（サイエンスカフェ）

S S H 事業は、理数科 1・2 学年が中心となって取り組むこととなりますが、普通科 1 年及び 2 年の理系や文系の生徒も希望により参加しやすいように、講演会や研修会を放課後に開催したり、フィールドワークを長期休業中に開催しています。また、S S H クラブと別に S S H ココアクラブとして、他の部に所属しても放課後や休業日の活動には参加できるように配慮しています。

本年度、学校設定科目として 1 年生では「S S H 情報」と「S S H 課題研究基礎」、2 年生では「S S H 課題研究」を開講しています。次年度は、それらに加え、1 年生では「S S H 英語」と「S S H 科学と社会」、2 年生では「S S H 理数言語活動」、「S S H 宮城からみる地球」を開講する予定です。

本年度開講した講演会のテーマは、「コンクリートを学ぼう！」「なぜ『アサリは死んだら開かない』？」「森は動いている」「触媒～身の回りの科学～」等です。

研修会では、東北大学工学部大学院研究室訪問、東北大学金属材料研究所、電気通信研究所、多元物質科学研究所、生命科学研究科見学等を実施し、高大連携の関係者の支援を受け研究への理解を深めました。

身近なテクノロジーとしては、コンピュータのハードディスクの分解、コンピュータの組み立て、携帯電話の分解などを「S S H 研修会」や「S S H 情報」で行いました。

校外での活動としては、フィールドワークとして 8 月に世界遺産白神山地でブナ林の植生観察を行ったほか、横浜パンフィコで開かれた S S H 生徒研究発表会への参加や「S S H わくわくサイエンス」として市内小学校等で科学教室を開き、活動の幅を広げました。

これからも生物分野、環境分野、数学分野での講演会を開く予定です。今までも、理数科の進学は 80 人中約 7 割が国公立大学に進学してましたが、S S H 事業でのいろいろな取り組みを通して、生徒は学問へ興味関心を深め、単に知識の習得だけでなく、経験を通して将来の展望を開き、自分の進路を切り開いていくでしょう。

新しい校舎やグラウンド等が完成し素晴らしい教育環境が整備されたことに加え、今回の S S H 事業の指定でますます魅力ある学校となった仙台三高で、皆さんも勉強に部活動にと元気いっぱい頑張ってみませんか。

→ <ホームページはこちら> <http://sensan.myswan.ne.jp>

<http://ssh-sensan.myswan.ne.jp>

□ 涌谷高等学校

| <厚い信頼 涌高魂>

見出しの<厚い信頼 涌高魂>は今年の生徒会のスローガンです。涌谷高校は生徒会活動がとても盛んです。19 年度には「涌高ふれあい隊」という生徒会のボランティア組織が全国表彰を受けています。

このことがきっかけとなり、22 年度からは選択授業として「社会体験・ボランティア活動」が始まり、現在全校生徒約 460 名中、120 名が活動しています。

部活動もとっても盛んです。「進化する涌高」の最新情報をお届けします。

◎美術部・書道部「22 年度全国総文祭宮崎大会」出場

◎音楽部「東日本学校吹奏楽大会（東京）」出場

◎文学部「短歌甲子園 全国高校生短歌大会（岩手）」出場

◎茶華道部「花の甲子園 東北地区大会（宮城）」出場

◎男子新体操部「県高校総体団体優勝 東北大会（岩手）」出場

授業や講習も充実しています。普通教科の充実はもちろんですが、音楽、美術、書道の教養系もそれぞれ専任の先生方がそろっています。結果として、国立大学への進学から民間企業への就職まで、それぞれの進路目標を達成することができます。

→ <ホームページはこちら> <http://wakuya-h.myswan.ne.jp/>

□ 小牛田農林高等学校

| <農業クラブ活動 ～おにぎり選手権～ >

8月29日、おにぎり選手権が本校中庭で実施されました。

本校農業技術科244名の生徒が全国組織の農業クラブに加盟しています。今回開催されたおにぎり選手権は、校内独自の農業クラブ活動の一環として、執行委員の生徒が新たに企画した行事です。本校の半分以上の生徒が在籍する総合学科の生徒や教師も含め、全校に参加を募りました。本校始まって以来の取り組みで、企画した役員は不安が隠しきれない様子でした。しかし、当日の受付には、長蛇の列ができ、参加賞のちゃんこ鍋は200食以上準備したものがすべてなくなるほどでした。審査会には、大皿に載せて家から持って来た大きなおにぎりや、アニメのキャラクターを象ったものをはじめ芸術性に優れたもの、審査員の家庭科教員をうならせる様な素晴らしい味のものまでさまざまなおにぎりが出品されました。さらに、中庭では、ちゃんこを手にしながらいおにぎりを頬張る小牛田農林生でにぎわい、農業高校ならではの“食”をテーマにした企画は大成功に終わりました。

昼休みのわずか30分の活動ですが、学科や学年、教師と生徒の隔てがなく、和気藹々とした雰囲気味わえる小牛田農林ならではの取り組みでした。

→ <ホームページはこちら> <http://kogotanourin.myswan.ne.jp/>

■ 2 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 名取高等学校

| <真善美への感動と実践…自分の力で可能性を広げよう…>

○名取高校はどこにありますか？

JR岩沼駅から徒歩14分。岩沼市の朝日山公園に隣接する自然豊かな学校です。岩沼駅までの通学は、JRで仙台駅から20分。大河原駅からは13分。常磐線や阿武隈急行を使って通学している生徒も多く。亘理郡や伊具郡からも通いやすいところに位置しています。多くの生徒は8時30分からの朝自習に間に合うように登校しています。

○名取高校はどんな学校ですか？

大正13年に岩沼実科高等女学校として設立され、その流れをくむ家政科(1クラス)と普通科(6クラス)の2学科からなる共学校です。学校行事がたくさんあり、球技大

会（2日間）、文化祭（2日間）、陸上大会、芸術鑑賞会（平成22年度はロックバンド）等があります。その他に1学年ではHR合宿（モンタナリゾート1泊2日）や上級学校訪問、2学年では修学旅行（昨年度は沖縄。今年度は京都・大阪方面を予定）を行っています。

また、全学年を対象にした大学・短大説明会（県内および福島県にある大学の入試担当者が来校し、生徒や保護者に学校の概要および入試システムを説明）、保護者対象の進路説明会（学年別）、1・2年生対象の進路ガイダンス（約20校の大学および専門学校が来校し、講座を開設）、3年生では就職達成セミナーや事業主模擬面接会等を行っています。

その他に、ケータイにまつわる事故防止講話や就職を控えての消費者講話、家政科の生徒を対象にした浴衣の着付けセミナーや料理教室等を行っています。

○授業や行事以外にどんなことをしていますか？

名取高校には生徒会と家庭クラブという2つの生徒組織があり、生徒は全員、両方の団体に所属しています。生徒会活動は中学校で行っているような活動に加えて、本校が平成21年度と22年度、道德教育の研究指定校になっていることを受けて、キャラクターをイメージしたバッジ制作や啓蒙活動、挨拶励行運動等を行っています。

さらに本年度は自転車マナーアップ推進校にも指定され、一般生徒の協力を得ながら交通安全に取り組んでいます。

家庭クラブ関連では、放課後のボランティア活動（岩沼市内の保育園や介護老人ホームに定期的に訪問。今年も実数で80人以上の生徒が学童ボランティアに参加）、ホームプロジェクトによる新作料理の開発、手作りうどん体験、米粉料理体験（この経験は、夏休みの期間中に地元の小学生を対象にした料理教室に活かしました）等、他の普通高校では味わえない貴重な経験をすることが出来ます。

また、地域とのきずなを深めるために月に1度、学校周辺の清掃活動を地域のかたと共同で行っています。（クラス単位で参加）

○部活動は盛んですか？

文化部、運動部共に盛んに活動しています。平成21年度、22年度の成績で主なものを列挙すると、文化部では吹奏楽部（県大会銀賞）、文芸部（全国総文祭文化連盟賞）、書道部（高野山競書大会協会賞）、音楽部（県代表で東北大会入賞）。運動部では陸上部（ハンマー投げ県大会優勝、800m仙南新人優勝）、女子バレー部（仙南総体優勝）、弓道部（全国選抜大会男子個人7位、宮城県総体女子個人3位）、体操部（国体県予選優勝）、女子ソフトテニス部（仙南総体優勝）、卓球男子個人（仙南総体準優勝）等となります。

○卒業後の進路状況はどうですか？

平成21年度の実績では大学進学56名（5名以上進学しているところ、東北学院大学、東北工業大学、尚絅学院大学、宮城学院女子大学）、短大19名（5名以上進学しているところは聖和学園短期大学と福島学院大学短期大学部）、公務員1名（宮城県警）、民間就職50名、その他の専門・各種学校108名。

本校では、1学年と2学年に対しては夏期講習と冬期講習を、3学年に対しては通年で放課後講習と夏期講習を行っております。それとは別に公務員希望者に対しては2学年の2月から適性検査練習会、就職希望者については一般教養勉強会等を行い、生徒の進路希望実現をサポートしています。

その他、本校ホームページをご覧ください。

→ <ホームページはこちら> <http://www.natori-h.myswan.ne.jp/>

□ 仙台二華高等学校
| <限りない未来への挑戦>

1 充実の進路指導

ほとんどの生徒が進学希望，合格率は県内屈指を誇ります。難関大学への入試科目に対応したカリキュラムと授業内容を実施，7階建ての新校舎の各階に設けられた学習スペースにはいつも黙々と勉強する生徒の姿が見られます。

2 「地球環境」をテーマに探究的に学ぶ | S・S R

ユネスコ・スクールの指定を受けている本校では，国際社会について学び・考え行動できる力を養います。高校2年の海外研修やアメリカデラウェア州ミドルタウン高校との姉妹校締結と交換留学交流を平成23年度に実施する予定です。1泊2日の海浜実習や自然科学基礎ゼミを通して探究の基礎を身につけていきます。

3 文武両道の部活動と伝統の学校行事

部活動は文化部・運動部ともに生徒が主体的に活発に活動しています。今年度から男女共学となり男子テニス部が団体戦で初勝利を上げるなど新しい活躍も見られました。伝統の体育祭や文化祭，合唱コンクールではクラス一丸となって戦います。

本気で粘り強く取り組む経験と，ここで出会う仲間は一生の宝物です。

→ <ホームページはこちら> <http://www.nika.myswan.ne.jp/>

□ 泉高等学校
| <泉高校を知りたいあなたへ>

第1回目の予備調査の提出も終え，いよいよ受験も間近にせまってきました。最終的に志望校を決めるのもまもなくですね。この時期に志望校として泉高校に興味関心をもつ中学生の皆さんに，特色のいくつかを紹介します。また，今回新たに作成した内容を加えた学校紹介の資料を，近隣の中学校へ配付するとともに，希望する中学生の皆さんにもお届けしたいと考えています。詳しくは下記をご覧ください。

泉高校は，

- 普通科の他に県内で二校しかない英語科のある学校です。英語科棟には I D E A <Izumi Digital English Approach> (コンピュータとLLを連動させた語学学習システム) ・国際文化講義室・小人数対応ゼミ室等があり，2人のALTが常駐しているなど，恵まれた環境のもと学習に取り組むことができます。現在は社会に出てから，英語力の必要性がますます重要になっています。今ある英語力を伸ばしたい方はもちろん，外国語に興味がありこれから英語力をつけていきたいと思う生徒の皆さんはぜひ志望してください。
- ほとんどの生徒が大学進学を目指し，9割がセンター試験を受験する進学校です。
- 泉中央駅に近く，広いグラウンドをもち，施設設備に恵まれ，学習だけでなく部活動においても充実した活動ができる環境にある学校です。
- 泉三校 (泉館山・泉松陵・泉) 定期戦・泉高祭・球技大会の運営をはじめ，生徒自らが自主的に生き生きとした活動をしている，心温かい雰囲気のある学校です。これからは寒さも増し厳しい季節となりますが，健康に気をつけ目標に向け頑張ってください。

※泉高校学校紹介資料 (学校案内・補足資料・泉高Q & A <増補版>・泉高の一年 <A 4判4枚写真集>・校舎配置図・8月12日学校説明会資料・入試要項等)

ご希望の方は下記あてに中学校名とお名前をメールまたはお電話でお知らせください。

電話 022-372-4111 担当：横田

E-mail info@izumihigh.myswan.ne.jp

その他、本校ホームページをご覧ください。

→ <ホームページはこちら> <http://www.izumihigh.myswan.ne.jp/>

□ 石巻商業高等学校

| <「目指せ！日本の志を！！」をモットーに>
|

平成22年度の石商生チャレンジ目標を

(1)『品格を育む高校生活』・・・爽やかなあいさつ，端正な身だしなみ。

(2)『切磋琢磨の高校生活』・・・切磋琢磨とは学問やスポーツに努め励むこと。

また仲間同士で励まし競い合って向上すること。自分の素質をたゆまぬ努力によって磨き上げ，学問にスポーツに励もう。

以上2点を掲げ，校是「独立自尊」の精神に恥じない学校生活をおくることを目指しています。

【学習活動】

商業の各分野に関する基礎・基本的な内容の習得を目指し，さらに実践的・実務的な専門知識や技能を身につけて多様な個性の伸長を図るようにします。また，ビジネスの活動のスペシャリストとしての人材の育成を目指します。2学年からは，自分の進路や興味・関心を踏まえ，より専門性を高めるために，大きく「会計類型」と「情報類型」に分かれます。さらに，3学年では，実際に石巻専修大学のキャンパスで，大学の講座を受講できる「高大接続研究事業」も行っています。

より高度な上級資格を取得し，それを武器にした大学進学も可能です。取得できる資格は，簿記検定，販売士検定，秘書検定，英語検定，基本情報・ITパスポート（国家試験）等があります。

【部活動】

昨年度の主な活動成績

カヌー部・・・インターハイ上位入賞，国体2種目優勝，世界選手大会出場（ロシア）

硬式野球部・・・県大会準優勝，東北大会出場 選抜甲子園大会21世紀枠候補

軟式野球部・・・県大会優勝，東北大会準優勝

珠算部・・・全国優勝

簿記部・コンピュータ部・写真部・陸上競技部（個人）・・・全国大会出場

バレーボール部（男子）・・・県ベスト8

どの部活動も，全国大会目指して熱心に活動しています。

石商は，「就職も石商！進学も石商！部活動も石商！」を目指しています。

→ <ホームページはこちら> <http://www.sekisyo.myswan.ne.jp>

■ 3 コラム ■

高等学校の校長先生，一般の先生，生徒代表などが，「我が校」に対する想い，最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ 松島高等学校 生徒会長 千葉 彩貴

| <生徒会長よりひとこと>

私たちの松島高校は、緑あふれる自然豊かなところにあります。日本三景のひとつでもある松島の地で、地域貢献ができる行事として「歩け歩け大会」を毎年5月におこなっています。この行事は、全校生徒が一丸となって松島町内を約8km歩きながらごみを拾い、町をきれいにしていくものです。昨年はこの取り組みを評価され国土交通大臣より表彰されました。

その他にも行事が盛んなこの学校では、4月に体育祭、新入生オリエンテーション合宿、10月に芸術鑑賞会、12月に修学旅行（2年生）、1月に百人一首大会などがあります。特に盛り上がるのが好きなわたしたちは、10月にある松高祭に一番力を入れています。松高祭では、各クラスの模擬店以外にも、地域の皆様がバザーを開き、さらに地域の方々との交流も深めています。

部活動では、みんなが協力し合い目標に向かって日々練習を積み重ねています。

先生も生徒も明るく元気なこの魅力ある松島高校に是非、足を運んでみてください！

→ <ホームページはこちら> <http://www.matsushima-h.myswan.ne.jp>

松島高校の魅力がたっぷりつまっています！どんどんアクセスしてください！

□ 石巻高等学校 教諭 小野寺智弘

| <生徒主体の校内行事>

石巻高校では日々の学習に取り組みながら、部活動に積極的に取り組んでいることについて、前回紹介しましたが、部活動に勝るとも劣らず積極的に取り組んでいるものが行事であります。生徒が特に積極的に取り組んでいる行事が、球技大会・体育祭・文化祭です。

それぞれ、生徒が主体的に運営に携わり、3つの行事ごとにポイント制にして競い合い、各行事の1位、そして、3つの行事の総合ポイントで総合優勝である「鰐陵王」を目指します。

特に盛り上がるのは、3つの行事の最後を締めくくる文化祭です。文化祭では街頭行進による石巻駅前でのパフォーマンスや、討論会、全クラス参加の、創作ダンスである「ラインダンス」を行います。ラインダンスの決勝は一般公開で行い、生徒は当日まで学業の合間に時間を作って必死に練習した成果を十分に発揮し、毎年、非常にクオリティの高い仕上がりとなっています。

生徒が全力で取り組み、最後には感動できる行事、そういった校内行事が石巻高校にはあり、生徒の友情を育み、人間的な成長の一助となっております。

→ <ホームページはこちら> <http://sekikou.myswan.ne.jp/>

□ 水産高等学校 教諭 増田雄次郎

| <ラグビー（楽・苦・備）>

最近、「草食系男子」という言葉をよく耳にしますが、一般社会でも積極的に辛いことに身を投じ心身を鍛えることは避ける傾向にあるようです。その対極にあるスポーツ

がラグビーであります。そうです私はラグビーが大好きで、水産高校ラグビー部の顧問をしています。ところで、海外のスポーツを漢字で表記するとき、ラグビーは、「蹴球（フットボール）」最近では「闘球（タックルなど競技の特徴）」と書いたりします。私は父の影響でラグビーを始めたのですが、父いわくラグビーの当て字は「楽・苦・備」（「楽しみ」と「苦しみ」を「備える」）と書くそうです。ラグビー部の顧問になり、その言葉の意味を改めて感じています。スポーツは本来の目的は楽しむべきものではありますが、部活動ではつらい練習もやらなければなりません。「勝つ喜び」「負ける悔しさ」「痛み」「勇気のあるタックル」「チームプレー」さまざまなことが合わさってスポーツを楽しむことができ、人間的に成長ができると思います。生徒たちを見ているとラグビーが好きで、楽しんで、笑って、悔しくて、泣いて、ラグビーを通して自己表現をしています。草食系もいいですが、喜怒哀楽、メリハリのある若者を育てていきたいですね。

→ <水産高校の楽苦備はこちら> <http://miyagisuisan.myswan.ne.jp/>

□ 石巻北高等学校 生徒会長 山本達彦

| <～石巻北高校の取り組み～>

将来何で生き、どの道に進むか、人生には多くの分岐点があります。

石巻北高校は河南高校を母体とし、石巻地区で初の総合学科の学校です。私たちはそれぞれの夢の実現を目指して、勉強や部活そして様々な行事に、全力投球の毎日を送っています。本校では5系列を設け、一人ひとりの興味・関心に応じた勉強ができます。新しい自分と出会い、将来の可能性を大きく切り開いていこうと思うのならば、北高は最適どころだと思います。

現在本校は、服装や自転車通学のマナーアップ向上の指定校であり、生徒一人ひとりがマナー向上に努めています。校門前で生徒会執行部を中心に朝の挨拶運動を実施しており、だんだんと元気ある学校となってきました。また、「G S P活動」という運動も行っています。これは「Green School Project」の略で「自分たちの環境は自分たちで作る」をテーマとした活動です。具体的には、校内に植物を置いてその手入れをしたり、憩いの場としてベンチを作成したりしています。

石巻北高校生徒会は「心機一転」をテーマに日々努力しています。私たちと一緒に北高の歴史を作ってみませんか。

→ <ホームページはこちら> <http://ishikita.myswan.ne.jp/>

□ 石巻西高等学校 生徒会長 千葉大貴

| <生徒会長から>

石巻西高校は、目標として文武両道の実践を掲げています。集中して勉強のできる自習室の設置や、解りやすい先生方の授業など、学習面での不安はありません。部活動では、全23部あり、一人ひとりが目標達成のために、一生懸命頑張っています。どの部も上位入賞するなどの実績をあげており、学習、部活動ともに励み高校生活を充実させている生徒が多いことも、本校の特徴だと私は思います。その他にも西翔祭をはじめ、体育大会やマラソン大会などの学校行事も、生徒が主体となり取り組み充実しており、楽しく学校生活を送ることができると思います。

私はこの学校に入学し、勉強をすることの大切さや楽しさ、先輩方の偉大さや後輩の

ありがたさ、そして、仲間の大切さなど、いろいろなことを学ぶことができました。どれも良い思い出です。卒業後は、頑張って高校で培った力を十分に発揮していきたいと思ひます。

→ <ホームページはこちら> <http://www.inisi.myswan.ne.jp/>

□ 気仙沼高等学校 生徒会長 村上大河

| <自己の成長を求めて>

皆さんは、高校をどのような場所だと考えていますか。「中学校より難しいことを勉強するところ」、「大学などに進学するためのところ」など、いろいろな答えがかえってきそうですね。しかし、気仙沼高校で学ぶ最も大切なことは「社会性」です。具体的には「地域社会との共生」について学ぶことが、そのひとつと言えます。本校では、いつも私たちに協力して下さる地域の皆様に感謝の気持ちを込めて、校外清掃活動を行っています。これは今年度から始めた新しい試みです。ささやかですが、地域との交流を深めることで、自分自身の心も成長できると思ひます。もうひとつ大切なことは「全国」を意識することです。本校には、全国の舞台上で活躍する部活もあります。勉強でも部活でも、ひとりひとりが明確な目標と意欲を持って自分の力を磨き高めていくことが、高校生活の充実につながります。

皆さん、自己の成長を求めて一緒に学んでみませんか。皆さんを待っています。

→ <ホームページはこちら> <http://kesenuma-h.myswan.ne.jp/>

■ 4 お知らせ ■

(1) 第1回志願者予備調査結果について

「第1回志願者予備調査結果」については高校教育課ホームページに掲載しております。下記アドレスから御覧下さい。

[アドレス]

http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/nyuushi/H23_第1回予備調査結果.pdf

(2) 公立高校ガイドブックについて

「公立高校ガイドブック」については、高校教育課のホームページに掲載しております。

みなさんの進路選択の一つの資料として役立ててください。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

[アドレス] <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>



「公立高校ガイドブック」をクリック

■ 5 編集後記 ■

今年度に入って5号目の「高校教育課 情報メール」第20号をお届けします。今回も、県内の高等学校の特色ある取組や学校紹介スペシャルなど多くの県立高校の情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

1回目の志願者予備調査の結果も出て、受験生の皆さんはいよいよ志望校を最終的に絞り込む時期となりました。悔いのない志望校選びをしていただきたいと思います。今後も県立高校に関するさまざまな情報をお知らせしますので「高校教育課情報メール」をよろしくお願ひします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696